

30 血液浄化センター



血液浄化センターは17台の透析ベッドを有しており、入院患者・外来透析患者の血液浄化・透析療法を担当している。14名の医師が診療に従事しており、その多くが日本内科学会・日本腎臓学会・日本透析医学会の定めた専門医・指導医の認定資格を有し、腎疾患および透析領域に加え、幅広い分野への対応に努めている。メディカルスタッフに関しては、専属の看護師が9名、臨床工学技士が3名配属されており、安全で質の高い血液浄化・透析療法および看護の提供に従事している。

2024年度の実績として、血液透析延患者数（30-1）は前年比5.4%減の6,070件であったが、過去4年間の平均を上回った。特殊透析延患者数（30-2）は前年比18.2%減の1,737件で、過去4年間の平均をやや下回ったが、一定数を維持した。腹膜透析患者数（30-4）は前年同様100件前後であった。腎臓病教室件数（30-3）は前年度より減少したものの一定数を維持した。

30-1 年度別透析延患者数

(人)

区 分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度 構成比率(%)
入 院	5,123	4,653	5,052	4,719	4,140	68.2
外 来	1,032	913	844	1,700	1,930	31.8
(うち導入期加算)	(510)	(574)	(541)	(341)	(437)	(7.2)
合 計	6,155	5,566	5,896	6,419	6,070	100.0

30-2 年度別特殊透析（血液濾過透析を含む）延患者数

(人)

区 分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度 構成比率(%)
血 液 濾 過 透 析	1,661	1,217	1,121	1,470	1,148	66.1
(うち緊急)	(10)	(12)	(4)	(3)	(5)	(0.3)
血 漿 交 換	197	65	109	147	89	5.1
(うち緊急)	(7)	(3)	(7)	(1)	(1)	(0.06)
二 重 濾 過 血 漿 交 換	16	4	5	3	4	0.2
(うち緊急)						
腹 水 濃 縮	35	38	22	19	46	2.6
(うち緊急)	(2)		(2)			
血 液 吸 着	40	1	14	155	164	9.4
(うち緊急)	(2)		(1)			
血 漿 吸 着	17	8	13	59	11	0.6
(うち緊急)			(1)	(1)		
出 張 透 析	157	90	145	170	114	6.6
(うち緊急)	(27)	(11)	(14)	(13)	(9)	(0.5)
E C U M	128	99	184	101	161	9.3
(うち緊急)	(11)	(9)	(7)	(5)	(4)	(0.2)
合 計	2,251	1,522	1,613	2,124	1,737	100
(緊急合計)	(59)	(35)	(36)	(23)	(19)	(1.1)

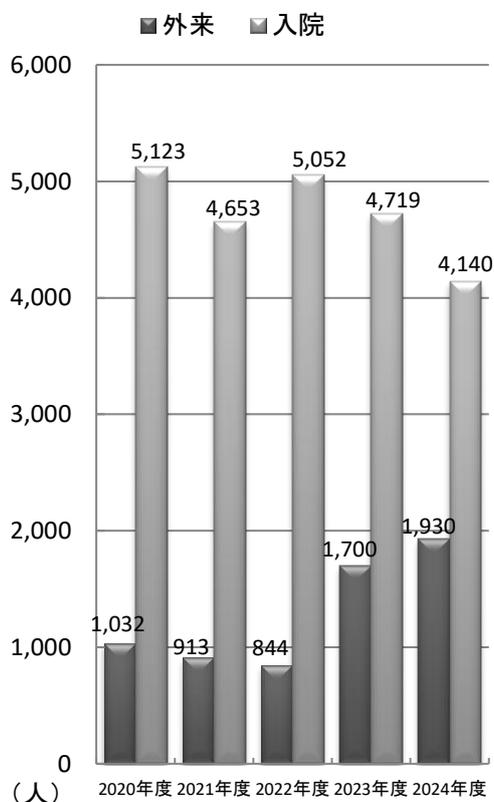
30-3 年度別腎臓病教室出席患者・家族数 (人)

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度 構成比率(%)
実患者数	1			27	17	94.4
実家族数	1			2	1	5.6
合計	2	0	0	29	18	100.0
延患者数	3			95	60	98.4
延家族数	2			4	1	1.6
合計	5	0	0	99	61	100.0

30-4 年度別腹膜透析患者数 (人)

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度 構成比率(%)
導入	5	3	6	1	3	3.2
外来	181	203	131	100	91	96.8
合計	186	206	137	101	94	100.0

30-5 透析延患者数の年度別推移



30-6 2024年度特殊透析延患者数の構成比率

